

若草もえる丘の道、・・・学びも弾む季節です。

五十嵐 よしゑ

関西国際大学医療経営学科 非常勤講師

「心もはずみ、みもはずむ 小鳥の歌にさそわれて 私もいつか歌いだす」

小学校時代の唱歌ですが、身も心も弾むこの季節が学びの計画の始まりに最適ですね。

古来、日本では皐月、英語では May です。語源を探ると、『皐月は「耕作を意味する「さ」から稲作の月として「さつき」になった。漢字の皐月には「神に捧げる稲」という意味があてられている。』May はローマ神話の Maia から来ていて、「偉大なる女性」という意味を持つ mag-ya から派生したもので大地豊穡の女神の名とのことだそうです。

さて、この季節は小鳥の囀り、木々の若葉、太陽の恵みなど大地の躍動に感動しますね。私たちは日々創造しながら生きています。その創造性の源は「やる気、即ち意欲」です。感動が大きいほど意欲も増大します。通信教育の基礎学習を楽しみながら、学習体験を脳細胞に蓄積していただきたいのです。失敗の体験であってもその体験があれば同じ失敗はしないようにと心がけることが出来ます。脳は常に働き、新しい体験を蓄積していきます。この蓄積された情報は脳皮質の側頭葉で徐々にさまざまな意味や価値に変換されていきます。この変換作業は常に自発的に起こっています。脳科学者の茂木健一郎氏によれば前頭葉は蓄積された情報を整理活用する場所で、整理・活用の基本となるものが意欲や価値観です。

また「どのような価値観を持つか、どのような欲望を持つか、どのような地点を目指していくのかによって、体験の整理のされ方は違ってきます。言うなれば体験や知識を創造性に結び付けられるか否かは、その人の生き方と考え方次第とういことになるでしょう」と述べております。今まで頭の良さは IQ が高いことが関心の的でしたが、現在では EQ がより求められています。すなわち前頭葉の統合的活用です。

感動を効果的に変化させる一つとして、何事にも興味を持ちプラス思考で何故、どうしてなどの気付きと科学する心です。そのことが学習への理解とつながります。感動が多いほど、神経回路は活性化するそうです。またその感動を表現する手段として言語や教養も高めて行きましょう。大地の素晴らしい神々に見守られたこの季節、大いに学び豊穡にあやかりたいものです。

通信教育として2年の期間は診療情報管理士の基礎教育で、全国7箇所均霑教育されております。スクーリングでは日々の学習からの疑問点を準備されること、また感性のアンテナを高くされ講師の講義から発信される重要な情報を取り込むことです。診療情報管理士の職種は奥深く、意欲を駆り立てられる分野です。朗報とし今年4月14日に診療情報管理士の職能団体として「日本診療情報管理士会」が発足いたしました。認定後は実践への活動及び研究の場としてこの会は、新たな躍進の場となることでしょう。

参考文献 「感動する脳」 茂木健一郎、「語源で楽しむ英単語」 遠藤幸子